

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろん、
あなたの好きなことをユニセフ活動に生かしてみませんか？

♪絵や文章を書くのが好きな方 ♪子どもが好きな方
♪手作りするのが好きな方 ♪パソコンが得意な方
♪学習会の組み立てと一緒に考えてくれる方などなど

いつでも
ボランティア
大募集!!

[今後の活動予定]

- 5/7(月) 14:00-16:00 第9回 役員会 (鳥取県立福祉人材研修センター)
- 5/14(月)～18(金) 鳥取市立河原中学校「いきいきワークかわはら」職場体験
- 6/21(木)～22(金) 学習講師研修会 (日本ユニセフ協会 ユニセフハウス)
- 7/17(火) 13:00-14:30 暮らしの経済・法律講座 (鳥取大学)
「子どもたちの未来のために私たちができること ～SDGsの視点から～」
- 7/27(金) 9:30-16:00 夏休みユニセフ学習会 (鳥取市福祉文化会館)
- 8/1(水) 9:30-16:00 夏休みユニセフ学習会 (米子市児童文化センター)

設立5周年記念!! 第5回 ラブウオーク in 鳥取!! 9/30(日) 大山まきば祭(大山まきば みるくの里)にて開催

- 県内各地のイベントでブースを出します!

- 9/24(月祝) 11:00-15:00 よなご国際交流フェスティバル (米子市文化ホール)
- 10/21(日) 10:00-14:00 せいきょうまつり (米子 弓ヶ浜公園)
- 10/21(日) 11:00-15:30 タイムフェスティバル (とりぎん文化会館)
- 11/25(日) 11:00-15:00 くらよし国際交流フェスティバル (伯耆しあわせの郷)

※各活動は、都合により変更となる場合がありますので、詳しくはホームページをご覧ください。

毎年
ワークショップを
しています
遊びに来てね!!

賛助会員募集!

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によってご支援いただく方法です。現在、鳥取県でも多くの賛助会員の方に協力いただいています。鳥取から世界の子どもたちを支えましょう!!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限ります。

■ユニセフライブラリー

ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ビデオ・DVD

「ユニセフと地球のともだち」「すべての子どもに教育を」「シュメンシュメン-子どもたちからのメッセージ」など

■パネル

「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」

■学習教材

「地図でユニセフ」「地球のともだちユニセフワークブック」幼児向け絵本「ちきゅうからのしつもん」など

■展示ツール

ネパールの水がめ、マラリア対策の蚊帳、経口補水塩など

鳥取県ユニセフ協会

〒680-1202
鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
TEL/FAX : 0858-71-0970
E/-Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp
URL : <http://unicef-tottori.jp/>



ボランティア登録、資料貸出、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

月・火・金 10:00～16:00
水 10:00～12:00

鳥取県生協本部1階になります!

ありがとうございます。鳥取県ユニセフ協会は設立5周年を迎えます!!

県内有志が集まり、2013年12月12日に鳥取県ユニセフ協会が設立、その後、皆様のご協力のもと県内各地で出前学習会、イベントへの出展、講演会や募金活動等を行ってまいりました。今年5年目という節目を迎え、さらに世界の子どもたちのこと、ユニセフのことを知っていただき、活動の輪を広げるために記念事業としてドキュメンタリー映画「いのちのはじまり」上映会&ユニセフパネル展と、講演会を開催いたします。

子どもたちの成長に本当に必要なものは?

ドキュメンタリー映画「いのちのはじまり」上映会 & ユニセフパネル展

ドキュメンタリー映画「いのちのはじまり」は、世界各地の子育ての今を映し、脳科学者、小児科医、経済学者など様々な分野の専門家たちからの経験と研究に基づいたメッセージがたくさん詰まっています。

- 親や養育者が、子どものそばにいて、働きかけることが大切
- 子ども一人を育てるには村が必要
- 乳幼児期への投資は、社会への投資

作品中に出てくるこれらの言葉は、ユニセフがECD世界キャンペーンを通して訴えるメッセージでもあります。

“はじめが肝心” ～乳幼児期の子どもの発達(Early Childhood Development - ECD)～

人生で最も大切なのは、そのはじまりである乳幼児期。この時期に適切な環境で育った子どもは、潜在的な力を最大限に発揮し、ほかの子どもと同じスタートラインに立つことができます。

ユニセフは世界各地の現場で積み重ねてきた経験と、脳科学をはじめとする最新の科学的知見を裏付けに、赤ちゃんが母体の中にいる10ヶ月間を含む、8歳までの時期の大切さを訴えています。乳幼児期の子どもたちへの支援を続け、また乳幼児を持つ親を支える施策の必要性和導入を各国政府に求めています。

上映会

6/9(土) ①10:00 ②14:00 米子コンベンションセンター 小ホール
6/16(土) ①10:00 ②14:00 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
6/23(土) ①10:00 ②13:30 とりぎん文化会館 第一会議室

パネル展

5/27(日)～6/8(金) 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
6/10(日)～6/16(土) 鳥取県男女共同参画センター よりん彩 活動交流サロン
6/20(水)～6/27(水) とりぎん文化会館 フリースペース

…試写会の感想…

「子どもはもうすぐ高校生になりますが、子どもとどう向き合うか考えさせられました」
「子どもが本来持つ力の素晴らしさを教えられました」
「日本は子どもにかけける公的資金が少ないと聞きます。ぜひたくさんの方に観て頂きたい」

■7月8日(日) SDGsと私たちの未来について考える (講演会&ワークショップ)

講師: 久木田 純さん(元国連職員)

場所: 公立鳥取環境大学 学生センター多目的室

子どもたちが変化の担い手

世界が目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」が2015年国連で採択されました。この目標の中では、より良い世界を作るための変化の担い手として、子どもたちが重要な役割を果たすとしています。ECDの取組みもSDGs達成に大きな影響を与えます。

SDGsでは、貧困と飢餓の撲滅、尊厳ある平等な社会の実現、地球環境と天然資源の保全、経済成長の促進、平和の構築による「誰一人取り残されない社会」の実現を目指しています。

そのために私たちにできることは何でしょう? 元国連職員の久木田純さんをお招きして一緒に考えます。身近な問題に気づき、暮らしを深めるきっかけになるとと思います。



活動報告



ロヒンギャ難民緊急募金

- 各イベントで募金活動を行いました。
- 第8回 役員会
役員関係の団体に向け、募金のご協力をお願いしました。

● 2017/10/1(日)
大山まきば祭



● 2017/10/22(日) せいきょうまつり



イベント出展
テーマは
「子どもの遊び」

● 2017/11/19(日)
タイムフェスティバル



クリップストラップ作りに挑戦!!

ロヒンギャ難民緊急募金にも
多くの方にご協力いただきました。

● 2017/11/26(日)
くらし国際フェスティバル



第39回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

Hand in Hand

テーマ「子どもたちに生きるチャンス」



◆鳥取県生協

◆ガールスカウト



ハンド・イン・ハンド募金、
ご協力ありがとうございました。

● 2017/9/20(水) ~ 10/3(火)
支援物資の貸出し展示



ほくほくプラザ
(北栄人権文化センター) にて

■国際交流団体紹介パネル展

2018/2/7(水) ~ 2/27(火) 米子市立図書館



■映画「いのちのはじまり」パネル展

- 2018/3/24(土) ~ 4/8(日)
米子市児童文化センター
- 2018/3/11(日) かぶりあ祭
米子市文化センター

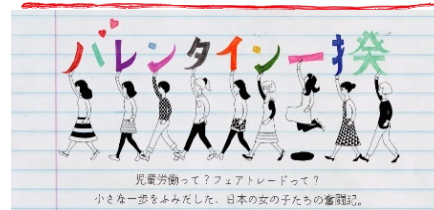
[会 議]

- 2017/12/5(火) 中四国事務局長会議
広島県ユニセフ協会 事務局
- 2017/12/8(金) 第8回 役員会
鳥取県福祉人材研修センター
- 2018/2/15(木) ~ 16(金) 事務局長会議
日本ユニセフ協会 ユニセフハウス

「ユニセフってなあに？」 世界のいろいろな状況にいる子どもたちのことをいっしょに考えてみましょう!!

学校での出前授業をはじめ、ユニセフ活動に関心がある各団体に出向いての学習会を行っています。
ユニセフ活動のDVDや、支援物資の実物にも触れることができます。

チョコレート原料、カカオ豆と、
どとど誰がついているのか、あなたは知っていますか？



(感想) 消費者としては少しでも安くて質のいいものを求めがち。でもその下に、労働力や時間、夢や希望を搾取され苦しんでいる人がいることを思うと、今の生活を少しづつ変えていかなければと思いました。

「バレンタイン一揆」(NPO法人ACE制作)の上映をし、児童労働と私たちの消費行動の関わりについての理解を深めていただきました。

- 鳥取県生活環境部くらしの安心局 消費生活センター
2017/10/8(日) 鳥取県立図書館 大研修室
- 鳥取県生協 中部エリア会
2018/2/10(土) 倉吉未来中心



(感想) まずは知ること、伝えること、そして自身の生活を見直すこと。すべて世界とつながっている。自分だけで、自分だけが、幸せになることはできないと思う。格差と貧困の問題問い続けていきたい。

■ 河原中学校

2年生の総合学習として、ユニセフや世界の子どもたちの現状を知り、また、国連が2015年に採択したSDGsについて、世界の状況と自分たちに関わることを考えるワークショップに取り組みました。

● 2018/1/26(金) 出前授業
「ユニセフと世界の子どもたちについて」

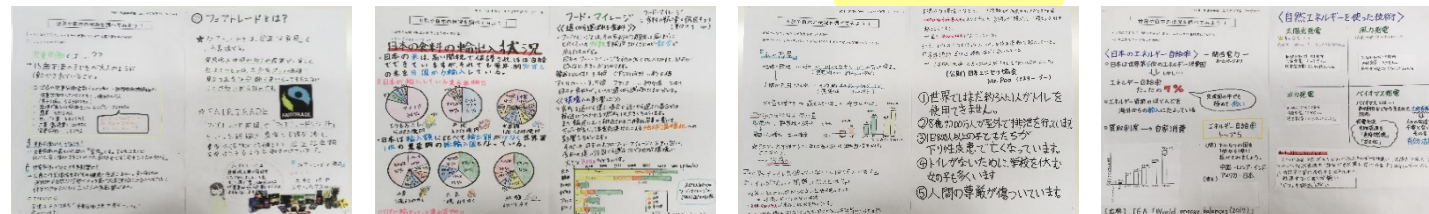
- ★ 2018/1/29(月) ~ 2/7(水)
世界の状況をテーマ別に各グループで調べ学習
- ① 世界及び日本の人口推移、人口ピラミッド
- ② 途上国、先進国(日本を含む)の貧困状況、富の比率
- ③ 世界紛争地マップ、難民の状況
- ④ 世界及び日本の災害マップ、気温上昇の変化、干ばつ状況
- ⑤ 食料の輸出入状況、フードマイレージ
- ⑥ エネルギー自給率、輸入状況、自然エネルギーを使った技術
- ⑦ 児童労働、フェアトレード
- ⑧ 世界で使える水は、トイレなど衛生の問題

● 2018/2/8(木) ワークショップ
「2030年 ~ 2050年 この世界の未来を考えてみよう！」



世界の状況について各グループ発表
↓
自分たちが大人になった時、
世界の状況はどうなっている??
「よくなっている派」 VS
「悪くなっている派」

より良い世界になるためにどんな方法があるか、
自分たちができることは?



■ 鳥取県生活協同組合 ユニセフ学習会

● 2017/11/15(水) 西部エリア会
「子どもにとって大切なこと&クリスマスリース作り」

ユニセフ学習会では「子どもにとって大切なこと」をテーマに子どもの権利条約について学習をしました。参加者の方からは「参加型の学習会で良かった」「子どもの権利がたくさんあることに驚きました」などの感想を頂きました。また、お楽しみでクリスマスリース作りをしました。



● 2018/2/7(水) 東部エリア会
「ミャンマーってどんな国? ~ミャンマー指定募金について~」

鳥取県生協が取り組んでいる「ミャンマー指定募金」について、スタディツアーに参加された加百智津子さんを岡山よりお招きし、学習会を開催しました。また、ミャンマー料理を作り、異国の味を堪能しました。

